

令和元年度下半期

# 業務状況説明書

安芸市上下水道課

## 1. 事業の概況

給水収益は、料金改定を行った平成11年度から人口の減少等による給水量の減少に伴い減少傾向にあり、令和元年度も前年度に比べ給水量、給水収益ともに減少となりました。令和元年度の給水状況は、給水件数8,411件（前年比54件、0.6%減）年間給水量は1,947km<sup>3</sup>（前年比41km<sup>3</sup>、2.1%減）となっております。

### 業務概況

項目	令和元年度	平成30年度	平成29年度	備考
給水戸数（戸）	8,411	8,465	8,586	
年間総配水量（m <sup>3</sup> ）	2,188,238	2,220,183	2,334,368	
年間有収水量（m <sup>3</sup> ）	1,947,239	1,988,006	2,032,614	
給水原価（円）	109.76	114.03	103.34	経常費用 251,060,435円
供給単価（円）	125.16	124.66	124.04	給水収益 243,715,089円
行政投資実績（千円） （建設改良費+修繕費）	174,585	247,940	330,646	
導送配水管延長（km）	174.6	173.4	172.8	

※給水原価  $\frac{\text{（経常費用）（長期前受金戻入）（年間有収水量）}}{251,060,435円 - 37,338,588円} \div 1,947,239\text{m}^3 = 109.76\text{円}$

※供給単価  $\frac{\text{（給水収益）（年間有収水量）}}{243,715,089円} \div 1,947,239\text{m}^3 = 125.16\text{円}$

### 住民負担の状況

#### (1) 水道使用料の状況(令和2年5月期)

調定額(円)	一戸当りの月平均水道料(円)
43,029,321	2,558

※平成31年4月1日に安芸市の簡易水道は全て上水道に統合しました。

#### 令和元年度企業債元利償還金

(円)

区分	給水戸数 (令和2年5月現在)	令和元年度末企業債 現在高	令和元年度元利 償還金	一戸当り 元利償還金
上水道	8,411	252,282,519	42,026,969	4,996
井ノ口簡易水道/井ノ口簡水統合		218,788,505	2,684,274	
赤野簡易水道/赤野簡水統合		248,448,473	20,659,397	
入河内簡易水道		12,639,203	1,548,485	
下山簡易水道		10,685,469	789,778	
大井簡水		29,142,849	2,118,441	
赤野・井ノ口簡水統合		99,189,967	6,123,580	
付帯設備（テレメーター）		1,338,820	678,640	
合計	8,411	872,515,805	76,629,564	9,110

※統合前の旧簡易水道ごとに表示

令和元年度下半期の予算執行状況は、収益的収入181,039千円で年間予算の58%、事業費用198,813千円で71%となっております。

令和元年度の決算見込みは、収益的収支の事業収入318,430千円、事業費用265,517千円、特別損失505千円で純利益45,271千円となっております。

資本的収支は、収入135,185千円、支出236,336千円となる見込みで、収支不足額101,151千円は、消費税資本的収支調整額及び過年度損益勘定留保資金等で補てんします。

### 令和元年度の収入支出の予算執行状況(下半期10月1日～3月31日まで)

#### 1)収益的収入及び支出

(単位：千円)

項 目	予算額	上半期執行額	下半期執行額	執行額計	執行割合
水道事業収益	309,970	137,391	181,039	318,430	103%
<b>1. 営業収益</b>	274,571	137,359	139,523	276,882	101%
(1) 上水道給水収益	261,942	134,006	130,826	264,832	101%
(2) 上水道受託工事収益	0	0	0	0	
(3) 上水道その他の営業収益	12,629	3,353	8,697	12,050	95%
<b>2. 営業外収益</b>	35,399	32	41,516	41,548	117%
(1) 上水道受取利息及び配当金	11	15	125	140	1273%
(2) 上水道他会計補助金	4,015	0	4,040	4,040	101%
(3) 上水道長期前受金戻入	31,323	0	37,339	37,339	119%
(4) 上水道雑収益	50	17	12	29	58%
水道事業費用	278,123	66,704	198,813	265,517	95%
<b>1. 営業費用</b>	254,220	61,995	185,177	247,172	97%
(1) 上水道原水及び浄水費	35,625	18,494	15,261	33,755	95%
(2) 上水道配水及び給水費	31,711	17,698	12,674	30,372	96%
(3) 上水道受託工事費	0	0	0	0	
(4) 上水道総係費	58,265	25,803	28,783	54,586	94%
(5) 上水道減価償却費	122,408	0	122,248	122,248	100%
(6) 上水道資産減耗費	6,211	0	6,211	6,211	100%
(7) その他の営業費用	0	0	0	0	
<b>2. 営業外費用</b>	17,840	4,709	13,131	17,840	100%
(1) 上水道支払利息及び 企業債取扱諸費	8,979	4,593	4,386	8,979	100%
(2) 上水道雑支出	206	116	90	206	100%
(3) 消費税	8,655	0	8,655	8,655	100%
<b>3. 特別損失</b>	4,063	0	505	505	12%
(1) 上水道その他特別損失	4,063	0	505	505	12%
<b>4. 予備費</b>	2,000	0	0	0	0%
(1) 予備費	2,000	0	0	0	0%

## 2)資本的收入及び支出

項 目	予算額	上半期執行額	下半期執行額	執行額計	執行割合
資本的收入	108,240	26,101	109,084	135,185	125%
1. 企業債	20,000	0	17,800	17,800	89%
(1) 上水道企業債	20,000	0	17,800	17,800	89%
2. 工事負担金	56,000	26,101	59,920	86,021	154%
(1) 上水道負担金	56,000	26,101	59,920	86,021	154%
3. 国庫補助金	10,000	0	8,902	8,902	89%
(1) 上水道国庫補助金	10,000	0	8,902	8,902	89%
4. 県補助金	0	0	0	0	
(1) 県補助金	0	0	0	0	
5. 他会計補助金	22,240	0	22,462	22,462	101%
(1) 上水道他会計補助金	22,240	0	22,462	22,462	101%
資本的支出	361,552	109,228	127,108	236,336	65%
1. 建設改良費	293,901	75,497	93,188	168,685	57%
(1) 上水道建設改良費	291,655	75,423	91,930	167,353	57%
(2) 上水道メータ費	2,246	74	1,258	1,332	59%
(3) 固定資産購入費	0	0	0	0	
2. 企業債償還金	67,651	33,731	33,920	67,651	100%
(1) 建設改良のための 企業債償還金	67,651	33,731	33,920	67,651	100%

令和元年度損益計算書

項 目	上半期	下半期	合 計
<b>1. 営業収益</b>	127,218	128,069	255,287
(1) 上水道給水収益	124,080	119,635	243,715
(2) 上水道その他の営業収益	3,138	8,434	11,572
<b>2. 営業費用</b>	108,737	133,155	241,891
(1) 上水道原水及び浄水費	14,711	16,330	31,041
(2) 上水道配水及び給水費	9,550	19,452	29,002
(3) 上水道総係費	20,246	33,143	53,389
(4) 上水道減価償却費	61,124	61,124	122,248
(5) 上水道資産減耗費	3,106	3,106	6,211
<b>営業利益</b>	18,482	△ 5,086	13,396
<b>3. 営業外収益</b>	31	41,517	41,548
(1) 上水道受取利息等	15	125	140
(2) 上水道他会計補助金	0	4,040	4,040
(3) 上水道長期前受金戻入	0	37,339	37,339
(4) 上水道営業外雑収益	16	13	29
<b>4. 営業外費用</b>	4,700	4,469	9,169
(1) 上水道支払利息等	4,593	4,386	8,979
(2) 上水道雑支出	107	83	190
<b>営業外利益</b>	4,731	27,648	32,379
<b>経常利益</b>	13,751	32,025	45,775
<b>特別損失</b>	0	505	505
<b>純利益</b>	13,751	31,520	45,270
前年度繰越利益剰余金			0
当年度未処分利益剰余金			45,270

令和元年度貸借対照表

資産の部

(単位:円)

1. 固定資産

(1) 有形固定資産

イ	土地	<u>48,941,951</u>	48,941,951	
ロ	建物	203,065,256		
	減価償却累計額	<u>△ 129,921,701</u>	73,143,555	
ハ	構築物	4,854,792,035		
	減価償却累計額	<u>△ 2,252,252,867</u>	2,602,539,168	
ニ	機械及び装置	837,465,346		
	減価償却累計額	<u>△ 577,537,674</u>	259,927,672	
ホ	車両及び運搬具	3,616,967		
	減価償却累計額	<u>△ 3,397,134</u>	219,833	
ヘ	工具器具及び備品	8,844,610		
	減価償却累計額	<u>△ 8,098,250</u>	746,360	
ト	建設仮勘定		<u>43,064,000</u>	
	有形固定資産合計			<u>3,028,582,539</u>

(2) 無形固定資産

イ	電話加入権		182,925	
ロ	上水ソフトウェア		<u>5,435,800</u>	
	無形固定資産合計			<u>5,618,725</u>
	固定資産合計			3,034,201,264

2. 流動資産

(1)	現金預金		804,386,876	
(2)	未収金	20,387,719		
	貸倒引当金	<u>△ 339,741</u>	20,047,978	
(3)	貯蔵品		<u>2,424,796</u>	
(4)	前払金		<u>0</u>	
	流動資産合計			<u>826,859,650</u>
	資産合計			<u><u>3,861,060,914</u></u>

負債の部

3. 固定負債

(1) 企業債

建設改良費等の財源に充てるための企業債 815,128,071

(2) 引当金

イ 退職給付引当金 66,408,438

固定負債合計 881,536,509

4. 流動負債

(1) 企業債

建設改良費等の財源に充てるための企業債 57,387,734

(2) 未払金 21,714,317

(3) 引当金

イ 賞与引当金 4,279,000

(4) その他の流動負債 35,205,765

流動負債合計 118,586,816

5. 繰延収益

(1) 長期前受金

イ 工事負担金 689,390,497

工事負担金収益化累計額 △ 259,848,870 429,541,627

ロ 補助金 941,563,110

補助金収益化累計額 △ 401,140,916 540,422,194

ハ 受贈財産評価額 45,560,997

受贈財産評価額収益化累計額 △ 11,266,150 34,294,847

長期前受金合計 1,004,258,668

繰延収益合計 1,004,258,668

負債合計 2,004,381,993

資本の部

6. 資本金

1,689,150,472

7. 剰余金

(1) 資本剰余金

イ 補助金 1,980,396

ロ 受贈財産評価額 231,870

資本剰余金合計 2,212,266

(2) 利益剰余金

イ 建設改良積立金 120,046,208

ロ 当年度未処分利益剰余金 45,269,975

利益剰余金合計 165,316,183

剰余金合計 167,528,449

資本合計 1,856,678,921

負債資本合計 3,861,060,914

### 3. 令和2年度の予算の概要及び事業の経営方針

令和2年度の水道事業予算は、収益的収入311,204千円（前年比3,053千円、0.99%増）に対し、収益的支出278,634千円（前年比1,438千円、0.52%増）で、32,570千円の利益を見込んでおります。

資本的収支予算は、収入43,470千円（前年比33,770千円、43.72%減）に対し、支出255,427千円（前年比9,933千円、4.05%増）で、収支不足額211,957千円は、損益勘定留保資金等で補てんすることになります。

人口減少等により給水量及び給水収益の減少が今後も続いていくと見込まれる中で、老朽施設更新や南海トラフ地震対策などといった課題にかかる費用は増大していくため、水道事業としての経営努力は継続しつつも、令和2年3月に策定した安芸市水道事業経営戦略に基づき、料金改定や料金体系見直しを行っていく必要があります。

#### 令和2年度予算 収益的収入及び支出

##### 収入の部

(単位：千円)

款 項 目	令和2年度	令和元年度	前年比較	構成比
水道事業収益	311,204	308,151	3,053	101%
1. 営業収益	272,880	274,571	△ 1,691	88%
(1) 給水収益	260,398	261,942	△ 1,544	84%
(2) 受託工事収益	0	0	0	0%
(3) その他の営業収益	12,482	12,629	△ 147	4%
2. 営業外収益	38,324	33,580	4,744	13%
(1) 受取利息及び配当金	116	11	105	0%
(2) 他会計補助金	2,070	2,196	△ 126	1%
(3) 消費税還付金	0	0	0	0%
(4) 長期前受金戻入	36,088	31,323	4,765	12%
(5) 雑収益	50	50	0	0%

## 支出の部

(単位：千円)

款 項 目	令和2年度	令和元年度	前年比較	構成比
水道事業費用	278,634	277,196	1,438	100%
<b>1. 営業費用</b>	261,709	259,569	2,140	94%
(1) 原水及び浄水費	36,367	37,313	△ 946	13%
(2) 配水及び給水費	37,575	36,521	1,054	14%
(3) 受託工事費	0	0	0	0%
(4) 総係費	62,239	62,927	△ 688	22%
(5) 減価償却費	122,835	122,408	427	44%
(6) 資産減耗費	2,693	400	2,293	1%
(7) その他の営業費用	0	0	0	0%
<b>2. 営業外費用</b>	14,825	11,564	3,261	5%
(1) 支払利息及び企業債取扱経費	8,225	8,864	△ 639	3%
(2) 消費税	6,000	2,000	4,000	2%
(3) 雑支出	600	700	△ 100	0%
<b>3. 特別損失</b>	100	4,063	△ 3,963	0%
(1) その他特別損失	100	4,063	△ 3,963	0%
<b>4. 予備費</b>	2,000	2,000	0	1%
(1) 予備費	2,000	2,000	0	1%

資本的収入及び支出  
収入の部

(単位：千円)

款 項 目	令和2年度	令和元年度	前年比較	構成比
資本的収入	43,470	77,240	△ 33,770	100%
1. 企業債	13,300	20,000	△ 6,700	31%
(1) 企業債	13,300	20,000	△ 6,700	31%
2. 国庫補助金	6,666	10,000	△ 3,334	15%
(1) 国庫補助金	6,666	10,000	△ 3,334	15%
3. 他会計補助金	23,404	22,240	1,164	54%
(1) 他会計補助金	23,404	22,240	1,164	54%
4. 負担金	100	25,000	△ 24,900	0%
(1) 負担金	100	25,000	△ 24,900	0%

支出の部

(単位：千円)

款 項 目	令和2年度	令和元年度	前年比較	構成比
資本的支出	255,427	245,494	9,933	102%
1. 建設改良費	197,778	180,646	17,132	79%
(1) 建設改良費	192,000	178,400	13,600	77%
(2) メータ費	5,163	2,246	2,917	2%
(3) 固定資産購入費	615	0	615	0%
2. 企業債償還金	57,649	64,848	△ 7,199	23%
(1) 企業債償還金	57,649	64,848	△ 7,199	23%